



株主のみなさまへ

第88期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



“おいしい”をデザインする

森永乳業株式会社

経営理念 乳の優れた力を基に新しい食文化を創出し、
人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する

経営ビジョン



森永乳業が約束すること

森永乳業が一番お届けしたいのは、
“おいしいね、” から広がる
家族や仲間との共感の輪。

そのために私たちは、
確かな品質管理と心ある技術で、
素材の“おいしい”を最大限に引き出し、
健康を育む研究と新しいヒラメキで、
毎日の“おいしい”を生み出し続ける。

世界に広がるおいしい共感の輪を目指して、
“おいしい”をデザインする森永乳業

CONTENTS

経営理念・経営ビジョン/ 当中間期連結業績ハイライト…	1
株主のみなさまへ ……………	2
当中間期の連結業績の概況 ……	3
個別部門別の事業の概況 ……	5
トピックス ……………	7
CSRへの取り組み ……………	8
新商品紹介 ……………	9
連結財務諸表 ……………	11
会社概要 ……………	13
株式情報 ……………	14

当中間期連結業績ハイライト

売上高	3,161億77百万円	(前年同期比 0.5%増)	▲
営業利益	143億9百万円	(前年同期比 9.9%増)	▲
経常利益	143億27百万円	(前年同期比 8.7%増)	▲
四半期純利益	53億15百万円	(前年同期比 23.9%減)	▼

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。
当社における第88期中間期(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の事業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。
よろしくご高覧賜わりますようお願い申し上げます。

森永乳業グループは、「乳の優れた力を基に新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念のもとで、一層の経営と業務の効率化に注力し、引き続き6つの経営課題に取り組んでまいります。具体的には「事業戦略の明確化」、「差別化商品の開発・育成体制の整備」、「ローコストオペレーションの推進」、「資産圧縮と財務体質の改善」、「人財マネジメントの推進」、「経営品質の向上」であります。

今期、平成22年度は、新興国の経済回復などによって、原料乳製品などの国際価格が上昇しており、原材料コストは増加が見込まれます。当社グループは、これに対処するため、一層の経営と業務の効率化に注力し、伸ばすべき商品の売上拡大による収益力向上とローコストオペレーションの徹底などの自助努力を進めることを重点課題として取り組んでおります。

販売面では、引き続き乳飲料・紅茶飲料、ヨーグルト、デザート、チーズ、アイスクリーム、宅配、業務用食品、機能素材、流動

食を売上拡大分野と定め、積極的に拡売をはかっております。

一方で、生産、販売、物流、管理などの各部門で、引き続きローコストオペレーションの徹底をはかってまいります。生産および物流部門については、コスト低減のための専任の部署を設けて重点的に取り組んでおります。また、お客さまに安全、安心を提供する品質保証体制の一層の強化にも積極的に取り組んでおります。

なお、コーポレートブランドの価値向上の一環として、10月よりアイスクリームのメインブランドを「エスキモーブランド」から「森永乳業ブランド」に変更いたしました。今後も企業価値向上に向けた取り組みを推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。



平成22年12月

代表取締役社長 古川 紘一

当中間期の連結業績の概況

森永乳業グループ当中間期の概況

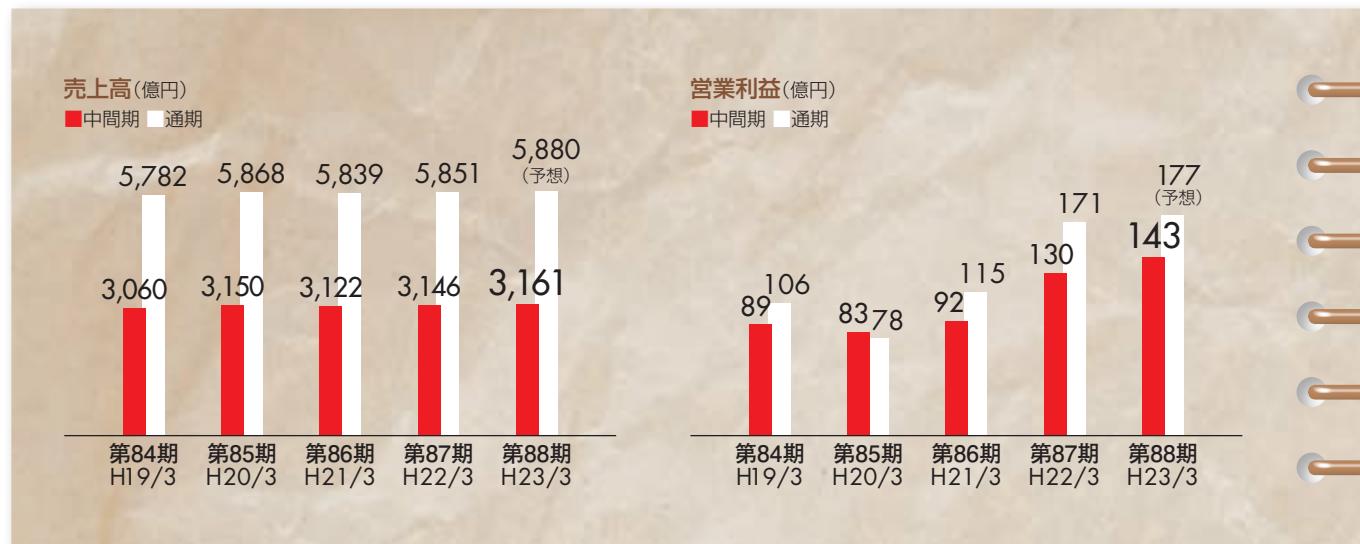
当中間期(平成22年4月～平成22年9月)におけるわが国の経済は、経済政策の効果などにより緩やかな回復基調をたどりましたが、依然として雇用情勢は厳しく、欧米経済の減速や円高・株安の傾向が強まるなど、引き続き景気の先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、消費者の節約志向、低価格志向が定着し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは、お客さまのニーズに応えた商品の開発、改良に努めるとともに、厳しい市場環境の中で、積極的に販売促進活動を行ってまいりました。一方で、原材料の有利調達および生産・物流の合理化や経費の削減など、各部門において引き続き、徹底したローコストオペレーションに取り組みました。

これらの結果、森永乳業単体の売上高は、猛暑の影響などによりアイスクリームが大幅に売上を拡大しましたが、牛乳類、プリン、乳飲料などが前年同期実績を下回ったことから、合計で前年同期実績を下回りました。一方、連結子会社の売上高が前年同期実績を上回り、当社グループの連結売上高は3,161億7千7百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

連結の利益面では、営業利益143億9百万円(前年同期比9.9%増)、経常利益143億2千7百万円(前年同期比8.7%増)となりました。四半期純利益は、投資有価証券の評価損の計上により53億1千5百万円(前年同期比23.9%減)となりました。



森永乳業グループ部門別の状況

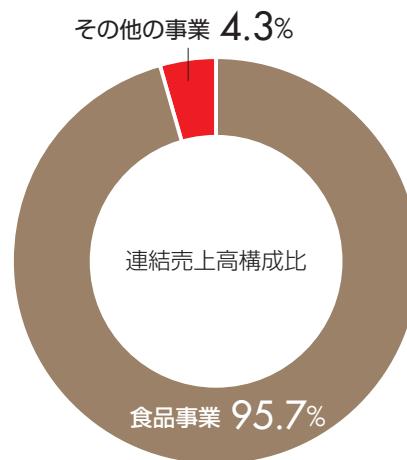
部門別の状況(部門間取引消去前)は次の通りです。

食品事業(市乳、乳製品、アイスクリーム、飲料など)

当中間期の売上高は、3,056億7千3百万円となり、また、営業利益は171億3百万円となりました。

その他の事業(飼料、プラント設備の設計施工など)

当中間期の売上高は、136億円となり、また、営業利益は17億8千5百万円となりました。



経常利益(億円)

■ 中間期 ■ 通期



当期(四半期)純利益(億円) / 1株当たり当期(四半期)純利益(円)

■ 中間期 ■ 通期

● 中間期 ● 通期



個別部門別の事業の概況

市乳

45.0% 1,076億 66百万円
(前年同期比 4.9%減)



ビダス
プレーンヨーグルト
脂肪ゼロ 450g



ビダス
ストロベリーヨーグルト
脂肪ゼロ 4ポット

森永のおいしい牛乳

マウンレーニア
ダブルエスプレッソ
(エスプレッソ、エスプレッソチョコラ)



当部門は、牛乳類、乳飲料等、ヨーグルト、プリン等で構成されています。

牛乳類は、「森永のおいしい牛乳」シリーズが前年同期を上回りましたが、全体では前年同期を下回りました。乳飲料等は、「マウンレーニア」シリーズが前年同期を上回りましたが、全体では前年同期を下回りました。また、プリン等も前年同期を下回りました。一方、「ビダスヨーグルト4ポット」シリーズや「ビダスプレーンヨーグルト脂肪ゼロ」などのヨーグルトは前年同期を上回りました。

これらにより、市乳の売上高は1,076億6千6百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

アイスクリーム

14.3%

342億 41百万円
(前年同期比 6.9%増)

アイスクリームは「PARM(パルム)」が前年同期を大きく上回り、また、夏場の猛暑の影響を受けて「みぞれ」などの氷菓も前年同期を上回りました。

これらにより、アイスクリームの売上高は342億4千1百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

※アイスクリームは、平成22年10月より、順次「エスキモーブランド」から「森永乳業ブランド」へ変更しています。

pino(ピノ)



MOW(モウ)
クリーミーミルク



PARM(パルム)
チョコレート



チルミル



はぐくみ

19.9%
474億 94百万円 (前年同期比 1.5%増)

乳製品

当部門は、練乳、粉乳、バター、チーズで構成されています。

粉乳は前年同期を下回りましたが、練乳、バターおよびクラフトブランドの「スライスチーズ」や「フィラデルフィアクリームチーズ」などのチーズは前年同期を上回りました。

これらにより、乳製品の売上高は、474億9千4百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

フィラデルフィア
クリームチーズ6P



クラフトスライスチーズ
8枚

その他

20.8%
496億 95百万円
(前年同期比 0.4%増)

果汁飲料やゼリーなどは前年同期を下回りましたが、リプトンフルーツティー、流動食などが前年同期を上回りました。

これらにより、その他の売上高は496億9千5百万円（前年同期比0.4%増）となりました。



リプトン500ml
(レモンティー、
アップルティー)



サンキスト200ml
(オレンジ、アップル、
グレープ)

サンキストゼリー
(オレンジ、グレープ、ピーチ)





蛋白分解物(ペプチド)の製造法開発で 文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞

4月13日、常務執行役員栄養科学研究所長 高瀬光徳が「風味良好な低抗原蛋白分解物の工業的製造法の開発」で、平成22年度文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞しました。森永乳業社員の受賞は、以前の科学技術庁長官賞、文部科学大臣賞と合わせて7度目となります。

高瀬は、牛乳アレルギーの乳児でも良質の牛乳たんぱく質を利用できるように、アレルギー性が低く、かつ風味の良い乳タンパク質分解物(ペプチド)の工業的製造法を確立しました。この技術は、国内初のアレルギー治療用ミルク「MA-1」を生み出し、さらに、アレルギー予防的育児用ミルク「E赤ちゃん」や栄養面と消化吸収性にすぐれた育児用ミルク「はぐくみ」、流動食等の幅広い栄養食品の提供につながりました。今回の受賞は、これらの技術が国民の健康増進に貢献する技術として認められたものです。



リプトンブランドのリーフティー販売で提携

森永乳業は、6月にユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社とリプトンブランドのティーバッグなどのリーフティーについて、森永乳業の販売網で販売することで合意しました。

森永乳業は、昭和59年からリプトンブランドの紙容器入りチルド紅茶飲料等の製造・販売を行っています。今回、リーフティーを自社の家庭用および業務用の販売網で販売することで、リプトンブランド製品の一層の拡大をめざし、10月1日から販売を開始しました。

CSRへの取り組み

「夏休み親子で楽しい工場見学会」の開催

8月に、中京工場、神戸工場、多摩サイトで、「夏休み親子で楽しい工場見学会」を開催しました。夏休みに特別プログラムで行う工場見学会も今年で3年目となり、毎回すぐに定員に達してしまうほどの人気を得ています。中京工場では「クリープ」、神戸工場では「アロエヨーグルト」、多摩サイトでは「MOW（モウ）」をテーマにして、通常の工場見学会に加えて、それぞれの商品をクイズを織り交ぜながら説明しました。その後は参加した親子の皆さんで、商品を使っての簡単クッキングを楽しく行いました。3工場とも「楽しかった!」「また来たい!」という嬉しいお声をたくさんいただきました。



「ウォーク・ザ・ワールド」に参加

6月6日、「森乳スマイル倶楽部*」は、国連WFP協会主催のチャリティー・イベント「ウォーク・ザ・ワールド〜地球のハラペコを救え。〜」に参加しました。当日は、従業員、家族、友人も含め、約40名が参加し、会場となった横浜みなとみらい地区は、晴天に恵まれ、絶好のウォーキング日和となりました。このイベントへの参加費用の一部が国連WFP協会の学校給食プログラムへの寄付金として利用されました。

「森乳スマイル倶楽部」は、今後もさまざまな社会貢献活動や国内外の自然災害被災地域への支援に取り組んでまいります。

※ 自発的に参加した有志従業員が無理のない範囲で寄付金を拠出する団体です。
森永乳業も同額を「マッチングギフト」として拠出し、さまざまな分野で行われている社会貢献活動を支援しています。



New Products Lineup 新商品紹介

チルド
ドリンク



リプトン EXTRA SHOT 深煎ミルク紅茶／ティーモカ

リプトンブランドがお届けする、本物・本格志向の紅茶ユーザーが満足できるこだわりのミルクティーです。

マウンレーニア カフェラッテ キャラメル&ハニー

ミルク感のあるキャラメルと、華やかな香りのハニーを組み合わせたフレーバーコーヒーです。



チルド
デザート

男子スイーツ部 理想のプリン なめらか卵こがしメープルソース味／ 濃厚カスタードねりこみ塩キャラメル

スイーツ好き一般男性が集う「男子スイーツ部」と当社が共同企画・開発したプリン第2弾です。



ビヒダス ナタデココヨーグルト 2種のアソート 4ポット

人気の4ポットタイプヨーグルト。
2種類の味が楽しめます。



pino(ピノ) スイートポテト味

ひと口アイスのロングセラー商品「ピノ」のデザートシリーズ第2弾。スイートポテト味のアイスクリームを、さつまいもの皮をイメージした紫色のチョコレートでコーティングしました。

チルド
乳製品



クラフト 切れてるチーズ チェダー

チェダーチーズの豊かな香りと濃厚な味わいをお楽しみいただけ、コクのある風味は特にお肉料理にぴったりです。

栄養食品



森永Eお母さん ラングドシャクッキー

妊娠・授乳中に不足しがちな栄養を
おいしく手軽に補えます。

アイス
クリーム

PARM(パルム) ザ ストロベリー

しっとりとなめらかな
口どけが、日々のくつ
ろぎの時間をちょっ
と贅沢にしてくれる
デイリープレミアム
アイスクリームバー
です。



ワンポイントアドバイス▷

豆腐はしっかりと水切りをしま
しょう。
フードプロセッサーが無い場
合は、泡立て器でなめらかに
なるまでよく混ぜ合わせま
しょう。こし器ですとさらに
なめらかに仕上がります。

メニュー特徴▷▷▷▷▷

和え衣にスキムミルクを加える
と、マイルドな風味の白和えに
なり、カルシウムも摂れます。
ほうれん草からは鉄分がたっ
ぷり摂れる健康に役立つメニュー
です。

レシピ



ほうれん草のミルク白和え

●材料(3人分)

ほうれん草	1束
かにかまぼこ	4本
こんにゃく(さしみ用)	90g
森永絹ごし豆腐	1丁
森永スキムミルク	大さじ4
砂糖	小さじ1
うす口しょうゆ	小さじ1/3
塩	少々

【作り方】

- 1 豆腐は充分に水切りをしておきます。
- 2 ほうれん草は、塩を加えた熱湯でさっとゆでて冷水にとり、水気を切ります。長さ3cmに切ってうす口しょうゆ(分量外)をかけ、もう一度絞ります。
- 3 かにかまぼこは半分に切ってほぐし、こんにゃくは短冊切りにします。
- 4 フードプロセッサーに、1の豆腐、スキムミルク、砂糖、うす口しょうゆ、塩を入れて混ぜ合わせます。ボールに移して2、3を加えて混ぜ合わせます。

栄養成分：1人分当たり

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	ナトリウム	カルシウム	鉄
125kcal	11.5g	4.1g	11.5g	280mg	177mg	2.0mg

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当中間期 平成22年9月末	前期 平成22年3月末
① (資産の部)		
流動資産	115,535	110,712
固定資産	244,995	247,167
有形固定資産	215,122	216,334
無形固定資産	5,459	5,517
投資その他の資産	24,414	25,315
資産合計	360,531	357,880
② (負債の部)		
流動負債	139,768	138,022
固定負債	113,242	116,222
負債合計	253,011	254,245
③ (純資産の部)		
株主資本	107,091	103,539
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,442	19,442
利益剰余金	67,083	63,522
自己株式	△1,138	△1,129
評価・換算差額等	△1,305	△1,835
新株予約権	173	142
少数株主持分	1,560	1,788
純資産合計	107,520	103,635
負債純資産合計	360,531	357,880

前期比較

① 資産の部

資産の部は、主に季節的要因により「受取手形及び売掛金」が増加したことなどにより、前期末に比べ26億5千1百万円増の3,605億3千1百万円となりました。

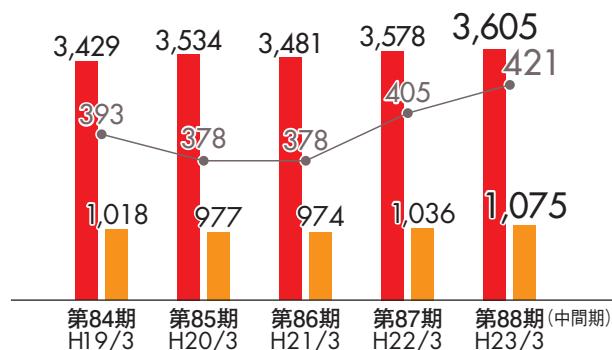
② 負債の部

負債の部は、同様に季節的要因により「支払手形及び買掛金」は増加しましたが、借入金及び社債が減少したことなどにより、前期末に比べ12億3千3百万円減の2,530億1千1百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産の部は、「利益剰余金」が増加したことなどにより、前期末に比べ38億8千5百万円増の1,075億2千万円となりました。

■総資産 ■純資産(億円) ●1株当たり純資産(円)



連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日
④ 売上高	316,177	314,685
売上原価	215,215	217,200
売上総利益	100,962	97,484
販売費及び一般管理費	86,652	84,469
④ 営業利益	14,309	13,015
営業外収益	1,178	1,263
営業外費用	1,160	1,100
④ 経常利益	14,327	13,179
特別利益	158	92
特別損失	3,781	1,793
税金等調整前四半期純利益	10,704	11,478
法人税等	5,414	4,341
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△25	149
④ 四半期純利益	5,315	6,987

前年同期比較

④ 売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益

売上高は、猛暑の影響もありアイスクリームが大幅に増加したことなどにより、前年同期に比べ14億9千2百万円増の3,161億7千7百万円となりました。利益面では、原材料の有利調達および生産・物流の合理化や経費の削減など、各部門において引き続き徹底したローコストオペレーションに取り組んだことから、前年同期に比べ営業利益は12億9千3百万円増の143億9百万円、経常利益は11億4千8百万円増の143億2千7百万円となり、四半期純利益は投資有価証券の評価損の計上により16億7千1百万円減の53億1千5百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成21年4月1日 至平成21年9月30日
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	29,275	24,183
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,095	△8,405
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,804	△10,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△37
現金及び現金同等物の増減額	2,325	5,009
現金及び現金同等物の期首残高	12,555	3,411
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,898	8,420

前年同期比較

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は292億7千5百万円の収入となりました。営業利益の増加と期中における売上債権およびたな卸資産の減少などにより、前年同期に比べ50億9千1百万円の増加となりました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は110億9千5百万円の支出となりました。支出の額は、固定資産の取得が増加したことなどにより、前年同期に比べ26億9千万円の増加となりました。

この結果、営業活動および投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリーキャッシュ・フローは、前年同期に比べ24億1百万円増の181億7千9百万円の収入となりました。

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は158億4百万円の支出となりました。支出の額は、社債を償還したことなどにより、前年同期に比べ50億7千3百万円の増加となりました。

会社概要 (平成22年9月30日現在)

会社概要

商号	森永乳業株式会社 MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.
創業年月日	大正6年9月1日(日本煉乳株式会社)
設立年月日	昭和24年4月13日
資本金	21,704,355,355円
従業員数	3,146名
会計監査人	新日本有限責任監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル
主要な事業内容	市乳(牛乳、乳飲料、ヨーグルト、プリン)、乳製品 (練乳、粉乳、バター、チーズ)、アイスクリーム、 飲料、流動食などの製造・販売 飼料の販売、プラント設備の設計施工など

役員

代表取締役会長	大野晃
代表取締役社長	古川紘一
取締役副社長	片岡伸好
取締役副社長	宮原道夫
専務取締役	野口純一
常務取締役	八木正博
取締役	田形均
取締役	岩附慧二
取締役	中嶋賢治
常勤監査役	高岡昌昭
常勤監査役	文屋貞男
監査役	八重田敏夫
監査役	武山信義

ホームページのご案内

森永乳業のホームページでは、製品情報や会社の様々な情報を発信しています。

工場見学のご案内



工場見学のご案内

森永乳業では、主力工場である多摩サイト、中京工場、神戸工場で工場見学を行っております。厳しい品質基準のもと、地球環境にも配慮しながら、おいしい牛乳や乳製品が作られている現場を、ぜひご覧ください。

申し込み・お問い合わせ

多摩サイト

森永乳業(株)本社
お客さま相談室

0120-369-744

平日 9:00～19:00
土日祝 9:00～17:30

中京工場

森永乳業(株)(東海支店)
お客さま相談室

052-936-1522

受付時間 9:00～17:30
(土日祝を除く)

神戸工場

森永乳業(株)(関西支店)
お客さま相談室

06-6341-0271

受付時間 9:00～17:30
(土日祝を除く)

さらに詳しい情報は当社ウェブサイトをご覧ください。

森永乳業 工場見学

検索





株式情報 (平成22年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 720,000,000株

発行済株式総数 250,932,837株(自己株式3,044,381株を除く)

株主数 32,704名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
森永製菓株式会社	26,248	10.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,357	6.11
株式会社みずほ銀行	12,404	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,192	4.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	11,030	4.39
株式会社みずほコーポレート銀行	7,303	2.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,942	2.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,644	2.64
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,617	1.83
森永乳業従業員持株会	4,019	1.60

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除した数に基づき算出しています。

株式分布状況



株価・株式売買高の推移



株主メモ

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日 毎年3月31日
公告の方法 当会社の公告は、電子公告により行います。事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関(同連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のお知らせ

平成22年9月30日現在、当社株式を1,000株(1単元)以上ご所有の株主のみなさまに、11月下旬より当社商品「絹ごしとうふ」をお届けしております。まだお受取りになられていない株主さまは、12月末日までに以下あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

〒108-8384 東京都港区芝五丁目33-1
 森永乳業株式会社 総務部
 電話 03-3798-0111



TRUE ESPRESSO & MILK
Mt. RAINIER
Caffè Latte



森永乳業株式会社

東京都港区芝五丁目33番1号
電話03-3798-0111



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915



環境に配慮したFSC™認証紙と植物油インキを使用
しています。

今後のIRスケジュールについて

以下は、今後の当社のIRスケジュールとなります。ご参考ください。

2011年2月(予定) 2011年3月期 第3四半期決算発表
2011年5月(予定) 2011年3月期 決算発表
2011年6月(予定) 第88期定時株主総会